

## 災害時の緊急人材育成と仕事創出の ための資格認証制度について

西之園晴夫（NPO学習開発研究所、  
京都教育大学・名誉教授）

## 災害の発生と救援・支援

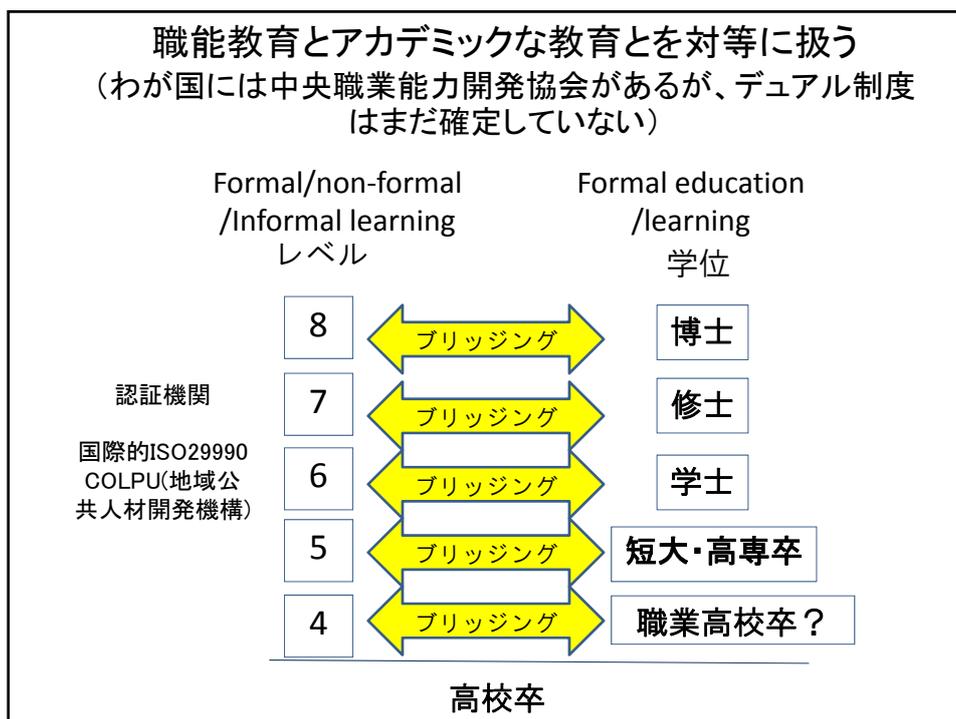
- 災害は予測できない場所と時間に発生する
- 災害の復旧・復興のための専門的知識・技術を有する人材の要請
- 人材の短期的育成と緊急雇用に対応する資格の開発
- 緊急人材育成では教育内容と授業時間と場所で規定する制度に限界がある

## 人材育成のデュアルシステム

- 公式教育(学校教育法)に基づく人材育成  
＝学校、高等専門学校、大学等での意図的計画的な公式学習(formal learning)システム：主管は文部科学省
- 職務経験あるいは実践と意図的な不公式(non-formal learning)あるいは意図されない非公式学習(informal learning)による資格認定：主管は主に厚生労働省  
(但しnon-formalとinformalとを合わせて非公式学習としている場合が多い)

### イギリスの資格枠組み (National Qualification Framework)

レベル	全国資格枠組み		高等教育資格枠組み
8	特定領域の第一人者、トップの実務家	D/8	博士
7	上級専門家、上級管理者	M/7	修士
6	知的専門家、専門管理者	B/6	第1学位
5	高等技術者、高等管理者	I/5	Diploma
4	技術・専門家、従業員管理・指導	C/4	Certificate
3	後期中等教育段階		
2	義務教育修了段階(GCSE A*~C)		
1	GCSE D~G		
入門			



### (京都府) 地域公共人材育成プログラム

- 産官学民それぞれのセクターの活動に共通する公共的要素に対応可能な人材の育成のための教育・研修システムがコンソーシアム「一般財団法人地域公共人材開発機構 COLPU」として京都府内に設立された。
- 「地域公共人材」を自治体職員、NPO関係者、社会的責任にかかわる企業の担当者等を対象に育成・活用する仕組みとして、京都の自治体・NPO・企業及び大学が、「新しい公共人材」を育てる意思を共有し、連携する場として機能することが期待される。

## 災害時の専門職、失職、課題解決

- 災害時で収入を確保することが課題
- 災害時の臨時の専門職が必要
- 災害時の緊急雇用に対応できる職能育成
  
- 准専門職の緊急育成プログラムの開発
- 遠隔地育成が可能であること

## 災害地域学童学習支援士(仮称)

- 災害地の子どもは精神的にも不安定になり暴力的になるなど問題が発生
  
- 兵庫教育大学付属でアフタースクール支援プログラムの経験があり助言が期待できた
  
- 阪神淡路大震災時での発達臨床心理士の経験の蓄積があり、その助言が期待できた

## 資格創出の目標

- 資格は30ポイントが単位となっているが、10ポイントが最小単位である。1ポイント10時間相当
- 学習成果主義であり、そのポートフォリオは知識、技術・技能(スキル)、職務遂行能力(態度)によって構成されている
- 知識は大学の授業あるいは講演内容を録画収録して被災地でチーム学習する
- 技術・技能は実習の機会を用意する
- 態度は協調自律学習の方式ならびに実習を採用することによって協力して問題解決に当たれるようにする

## 地域分散学習の試行

- 現在エレクトロニクス講座をe-Learningベースとする協調自律学習の形態で複数大学ならびに企業の技術者向けに試行
  - 大学生と企業内技術者との交流
- 電気回路基礎とCMOSアナログ回路
  - 会場は大阪工業大学、同志社大学、京都教育大学、
  - 内容は大阪大学名誉教授のCD-ROM教材
- 災害地域学童学習支援士の企画と再検討

### 協調自律学習によるノン・フォーマル教育の試行講座

年	月	講座	場所	受講者所属	人数
2010	5～8	CMOSアナログ回路 (1)	京都教育大学	京都大学大学院生 (情報学)	2
				同志社大学大学院生	2
				立命館大学学部生 (工学部)	2
2010	11～2011/ 2	CMOSアナログ回路 (1)	同志社大学	同志社大学・大学院生	6
2011	6～8	電気回路基礎	京都教育大学	マイクロシグナル株式会社	1
				パナソニック電工	1
				同志社大学・大学院生	2
2011	6～8	電気回路基礎	同志社大学	同志社大学・大学院生	7
2011	7～9	電気回路基礎	大阪工業大学	大阪工業大学学部生 (情報学部)	27
2011	7～8	CMOSアナログ回路 (2)	京都教育大学	マイクロシグナル株式会社	1
				元パナソニック電工	1
				マルチメディア研究開発 楽墨堂	1
				京都大学大学院生 (情報学)	1
2011	8～9	CMOSアナログ回路 (1)	京都教育大学		
				合計	社会人技術者 学生

### 実現の困難さ

- 被災地での雇用を実現するために現地で受講を可能とする遠隔学習が必須である。
- 通学課程は内容と受講時間数と教室での教育を前提としているので被災地域で対応できない。
- 通信課程のテキストとレポート添削では限界があるのでe-Learningが期待されるが、科目の種類で十分対応できていない。
- 前出のアカデミックな高等教育と職能育成の高等教育とはその理念が異なるが、緊急雇用と災害地支援のための職能育成は職能育成教育制度によって効果的に対応できる。
- 教育内容をCD-ROMに収録することと著作権問題